

本場日本一の追分を堪能

### 江差追分会館

追分館は、江戸時代の頃から信州中仙道で賑わっていた馬子唄が一種の賑わいとして全国各地に広がり、越後に伝わったものが船唄となって、船頭たちの唄われるようになり、やがて今から二〇〇年前に北前船によって江差に運ばれてきたといわれています。さらに江差では、座頭佐之市がケンリョウ節と追分を加えて独特の音調を持つ江差追分を誕生させたといわれ、多くの唄い手によって磨かれ、情緒豊かな江差追分の調べ



●入館料/大人500円、小・中・高生250円(15名以上の団体は1割引) ●開館時間/9時~17時 ●休業日/4月上旬祝~10月末11時~13時~15時(江差追分大会開催日除く) ●お問い合わせ/江差町字中歌町193-3 ☎(0139)52-0920

370年の歴史がここに

### 江差山車会館

江差人の血が騒ぐ北海道最古の祭り、純神大御宮渡御祭は、今をさかのぼることおよそ三七〇年、毎年の豊漁によりニシン景気にくわく、江差の人々が、その年の終漁後、神様に感謝を込めて行ったのがこの夏の祭の起源です。江差の町は毎年八月九日、十一日の間お祭り一色に染まります。猿田彦命に先導された行列に、豪華な十三台の山



車や、マが供奉し、祇園囃子の流れをくむ調べのり、町内を練り歩く様子は圧巻で、北海道最古の純神豪華な夏祭りはいにしへの栄華を偲ばせます。館内では、二台の山車を展示しており、一五〇インチの大型スクリーンでは祭りの賑わいの様子を見ることが出来ます。

北辺に息づく人間賛歌  
江差追分の全てがここに

追分館は、民謡を愛する人々の心を魅了します。日本を代表する民謡の王様と言われる、民謡は江差追分に始まって江差追分に絞られるともいわれています。

町指定有形文化財

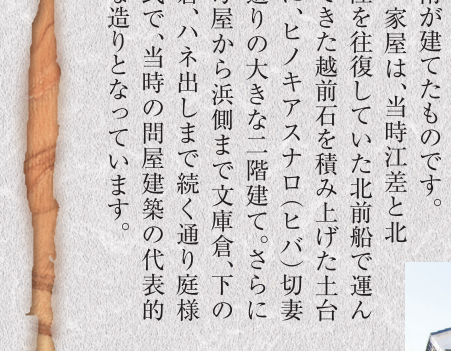
### 旧関川家別荘



●入館料/大人100円、小・中・高生50円(15人以上の団体は1割引) ●開館時間/9時~17時 ●休業日/4月1日~10月末までは無休、11月1日~3月31日は毎日曜日・祝日の翌日 ●お問い合わせ/江差町字豊川町55 ☎(0139)52-4220

町指定重要文化財

### 旧中村家住宅



●入館料/大人300円、小・中・高生100円(15人以上の団体は1割引) ●開館時間/9時~17時 ●休業日/4月1日~10月末までは無休、11月1日~3月31日は毎日曜日・祝日の翌日 ●お問い合わせ/江差町字中歌町22 ☎(0139)52-1617

ニシン漁全盛時代を  
今に伝える廻船問屋。



中歌町に残されている旧中村家は、江戸時代から日本海沿岸の漁家を相手に海産物の仲買商を営んでいた近江商人の大橋宇兵衛が建てたものです。家は、当時江差と北陸を往復していた北前船で運んできた越前石を積み上げた土台に、ヒノキ・ササノロヘビ切妻造りの大きな二階建て。さらに母屋から浜側まで文庫倉、下の倉ハネ出しまで続く通り庭様式で、当時の問屋建築の代表的な造りとなっています。

## ESASHI MAP



### 幕末の軍艦 開陽丸記念館

●入館料/大人300円、小・中・高生150円(15人以上の団体は1割引) ●開館時間/9時~17時 ●休業日/4月~10月末、11月~3月は月・祝祭日の翌日、12/31~1/5 ●お問い合わせ/江差町字神町1-10 ☎(0139)52-5622 ●URL/http://www.kaiyou-maru.com

### 今よみがえった 幕末の浪漫

幕末にオランダで建造された幕府軍艦、戊辰戦争中に根本武揚の命を懸けて活躍したが、暴風雪のために明治元年(一八六八)江差沖で座礁沈没した。同施設はオランダに復元されたもので、内部には海底に沈んでいた開陽丸から引き揚げられた遺物の約三〇〇〇点が展示されている。大砲や、当時の最新式の武器や和洋折衷の生活用品などもあり、裏の生活用品などもあり、とても興味深い。大砲の発射音や帆船の操縦、砲撃の重量などを体験できるコーナーのほか、江差観光情報案内所も

町指定有形民俗文化財

### 横山家

京の香りを残す出家。代々受け継がれた陣御殿。横山家は初代から現在まで二五〇年以上の歴史があり、幕末にオランダで建造された幕府軍艦、戊辰戦争中に根本武揚の命を懸けて活躍したが、暴風雪のために明治元年(一八六八)江差沖で座礁沈没した。同施設はオランダに復元されたもので、内部には海底に沈んでいた開陽丸から引き揚げられた遺物の約三〇〇〇点が展示されている。大砲や、当時の最新式の武器や和洋折衷の生活用品などもあり、裏の生活用品などもあり、とても興味深い。大砲の発射音や帆船の操縦、砲撃の重量などを体験できるコーナーのほか、江差観光情報案内所も

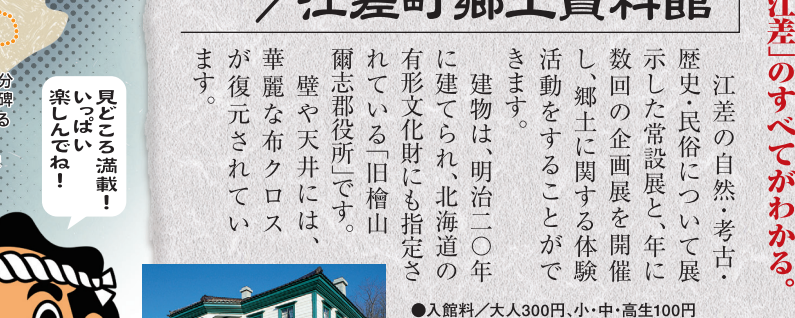


### 江差いにしえ街道

その隆盛を極めた建造物、問屋蔵・商家、町屋・土蔵が海岸線に沿い、下町に多く、そのままだと見えてくる。江差町では、この歴史の建造物を後世に伝えるべく、多くの人に「いにしえ街道」として、平成十六年十一月に街路事業が完了。性的な街並みとしての個性を復活させ、大きく変化しました。

町指定有形民俗文化財

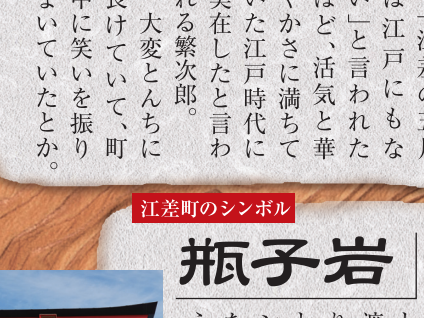
### 旧榎山爾志郡役所



●入館料/大人300円、小・中・高生100円(15人以上の団体は1割引) ●開館時間/9時~17時 ●休業日/4月1日~10月末までは無休、11月1日~3月31日は毎日曜日・祝日の翌日 ●お問い合わせ/江差町字中歌町112 ☎(0139)54-2188

江差民謡の主人公

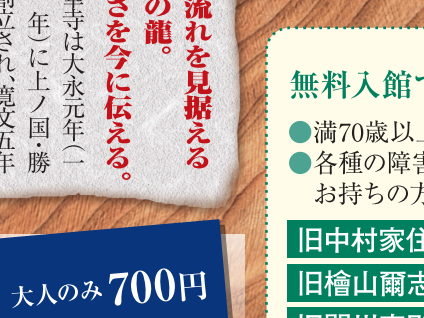
### 繁次郎



今も愛される江差の主人公。江差の五月は「江差の五月」と言われ、ほどほどに華やかに満ちてきた。江差の歴史に、実在したと言われている繁次郎。大変立ちに長けていて、町中に笑いを振りまいていたとか。

町指定有形民俗文化財

### 瓶子岩



かまめ島の名勝。今から五〇〇年もの昔、天変地異を予言する老姥がおりました。ある時、姥はひとりの翁から瓶を渡され、翁のおとりの瓶を海に投げたところ、江差にニシンが群来するようになり、江差の人の飢えを救ったという。

### 宿泊施設のご案内

1 ホテル ニューえさし ☎(0139)52-3311  
[シングル・1泊朝食付]7,170円(税込)  
2 目谷旅館 ☎(0139)52-0072  
6,500円~(1泊2食付・税別)

3 港旅館 ☎(0139)52-0308  
6,500円~(1泊2食付・税別)  
4 ホテル寺子屋 ☎(0139)52-0855  
[素泊]6,000円~8,000円(食事は要予約)(税込)  
5 旅庭 群来(くま) ☎(0139)52-2020  
33,000円~(1泊2食付・消費税・入湯税別)

7 ふじや旅館 ☎(0139)52-0115  
5,500円~(1泊2食付・税別)  
8 ホテル満潮 ☎(0139)53-6431  
[洋室]7,800円~[和室]7,000円~(共に1泊2食付・税込)  
9 繁次郎番屋簡易宿泊所 ☎(0139)52-1177  
[2名まで]6,300円(1名追加毎に2,100円追加・税込)

こだわりコース

江差追分コース  
1 かもめ島めぐり 所要時間 30分 料金 無料  
2 江差追分会館 所要時間 3分 料金 無料  
3 江差追分の地祖 佐之市の碑 所要時間 60分 料金 有料  
4 江差追分 所要時間 5分 料金 無料

魚東コース

北前船コース  
1 かもめ島めぐり 所要時間 25分 料金 無料  
2 折居社跡 所要時間 3分 料金 無料  
3 姥神大神宮 所要時間 10分 料金 無料  
4 横山家 所要時間 25分 料金 有料  
5 江差山車会館 所要時間 30分 料金 有料  
6 旧中村家住宅 所要時間 25分 料金 有料  
7 旧関川家別荘 所要時間 20分 料金 無料

時間コース

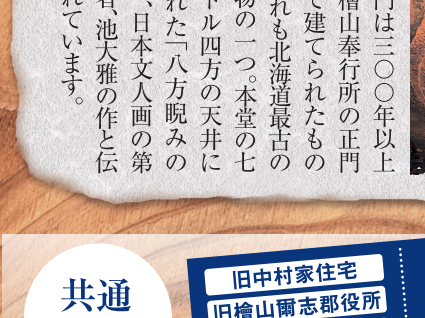
1 時間30分コース  
江差追分会館/山車会館 45分  
幕末の軍艦 開陽丸(えさし海の駅) 40分  
2 時間45分コース  
横山家 25分  
江差追分会館/山車会館 55分  
旧榎山爾志郡役所 30分

3 時間1時間コース

幕末の軍艦 開陽丸記念館(えさし海の駅) 45分  
横山家 20分  
江差追分会館/山車会館 55分  
旧中村家住宅 25分  
旧榎山爾志郡役所 20分

八方睨みの龍が迎える

### 法華寺



山門は三〇〇年以上前に榎山奉行所の正門として建てられたもので、これも北海道最古の建築物の一つ。本堂の七メートル四方の天井に描かれた八方睨みの龍は、日本人画の第一人者、池大雅の作と伝えられています。

無料入館できる方  
●満70歳以上の方  
●各種の障害者手帳をお持ちの方  
旧中村家住宅  
旧榎山爾志郡役所  
旧関川家別荘のみ

旧中村家住宅 大人500円 小中高150円  
横山家 大人のみ700円  
幕末の軍艦 開陽丸記念館(えさし海の駅)